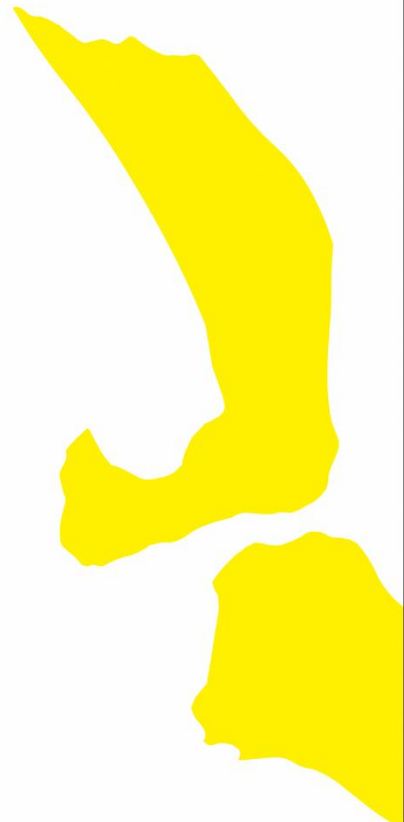




令和7年度 八戸駅周辺まちづくり全体会議 事務局事前配布資料

日 時：令和7年8月23日（土）14時
場 所：ユートリー5階視聴覚室
事務局：八戸市都市整備部都市政策課



< 目 次 >

1. 都市計画から見た八戸駅周辺
2. 八戸のスポーツの概況
3. 区画整理から見た八戸駅周辺
4. 八戸駅西まちづくり計画 スマート・スポーツシティ
5. まちづくりの状況



1. 都市計画から見た八戸駅周辺

2. 八戸のスポーツの概況

3. 区画整理から見た八戸駅周辺

4. 八戸駅西まちづくり計画

スマート・スポーツシティ

5. まちづくりの状況

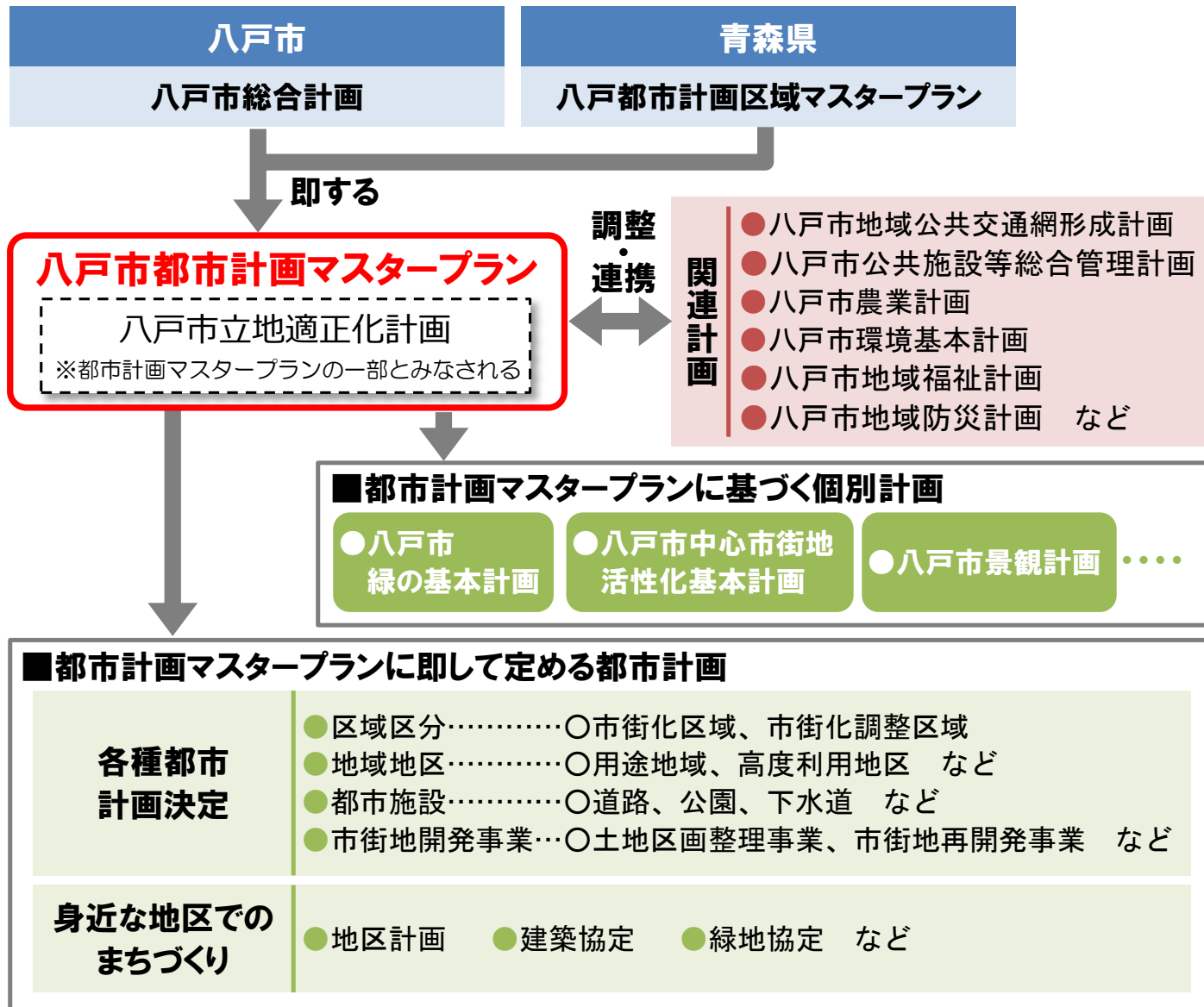


八戸市都市計画マスタープラン

- 目指す将来像やその実現に向けた方向性を示す「都市計画」の指針
- 対象地域：八戸市全域
- 目標年次：令和20年（2038年）



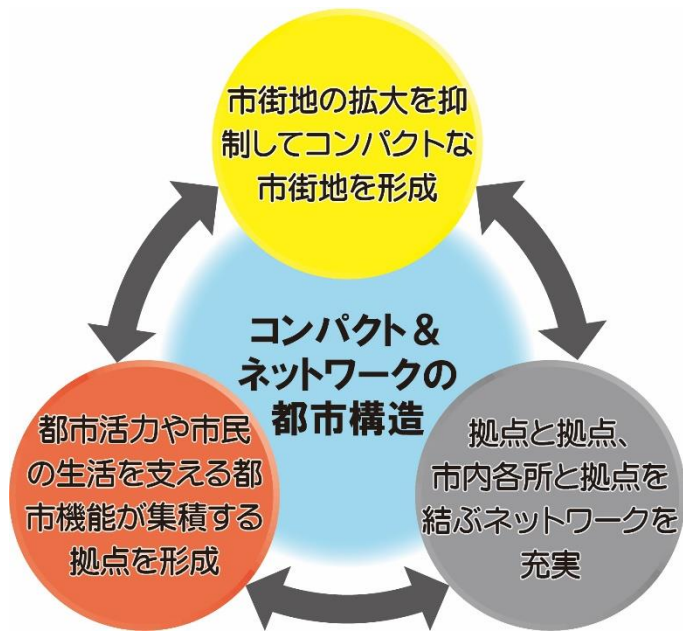
計画の位置づけ



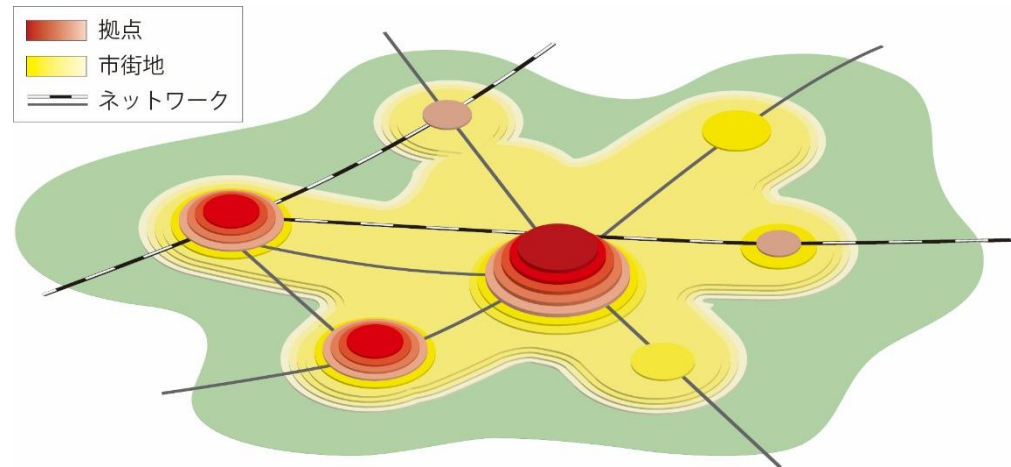
将来都市構造

コンパクト&ネットワークの都市構造

「コンパクト&ネットワークの都市構造」の概要



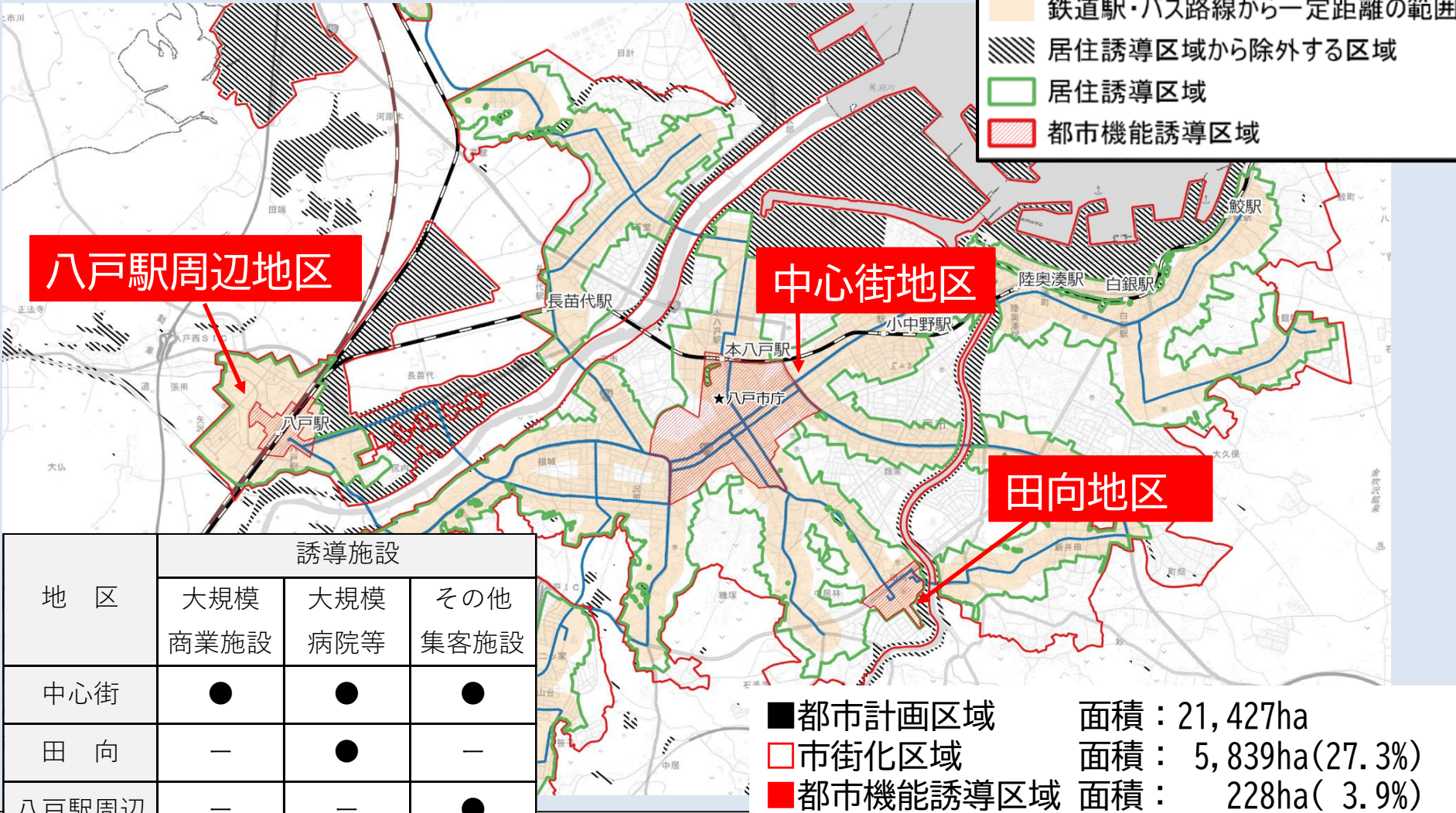
「コンパクト&ネットワークの都市構造」の形成イメージ



八戸市立地適正化計画

都市機能誘導区域と居住誘導区域

- 【凡例】
- 鉄道（在来線）
 - 鉄道（新幹線）
 - バス路線（市内幹線軸）
 - 市街化区域
 - 鉄道駅・バス路線から一定距離の範囲
 - 居住誘導区域から除外する区域
 - 居住誘導区域
 - 都市機能誘導区域



地 区	誘導施設		
	大規模 商業施設	大規模 病院等	その他 集客施設
中心街	●	●	●
田 向	—	●	—
八戸駅周辺	—	—	●

■都市計画区域 面積：21,427ha
□市街化区域 面積：5,839ha(27.3%)
■都市機能誘導区域 面積：228ha(3.9%)
■居住誘導区域 面積：2,623ha(44.9%)

八戸市立地適正化計画

都市機能誘導区域における誘導施設として整備したもの

【フラットアリーナ】

- ・地区：八戸駅西地区
- ・施設：その他集客施設



【美術館】

- ・地区：中心街地区
- ・施設：その他集客施設



【総合保健センター】

- ・地区：田向地区
- ・施設：大規模病院等



【総合健診センター】

- ・地区：田向地区
- ・施設：大規模病院等



誘導施設が“呼び水”となり、「誘導施設」を含めた様々な都市機能の立地・集積につながっていくことが期待される

長根屋内スケート場『YSアリーナ八戸』

参考事例

コンセプト

基本方針Ⅰ

長根公園の歴史性を活かし、公園や周辺環境と調和する“屋内スケート場”

基本方針Ⅱ

国際大会への対応、ランニングコストの低減に配慮した、世界水準の“屋内スケート場”

基本方針Ⅲ

スポーツを中心とした交流拠点と、多目的に利用できる“みんなのスケート場”

面積: 建築面積 約22,300㎡

延床面積 約26,200㎡

階数: 地上3階、地下1階(通路)

高さ: 約25m

観客席: 固定席3,019席、障がい者席28席

リンク: 400mダブルトラック(国際基準)

リンク幅16m

製氷期間: 7月中旬～3月中旬

支援措置: 中心市街地再活性化特別対策事業

社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画

事業(八戸市中心拠点地区)(都市公園・緑地等事業)

令和元年9月29日

供用開始

EXIT萎えぽよエリア
ぶちアゲ活性化ツアー
開催!!(R3.10.17)

当施設初の国際大会!!

2024世界ジュニア選手権大会
開催内定(R6.3.1～3.3)

多目的利用	中地	年間を通して各種スポーツなどに利用(リンク解氷時はアリーナ全面で多目的利用 約9,000人収容可能)
防災拠点機能	避難者の一時滞在施設、災害支援物資集積所として活用	



八戸市の公共交通事情



- 中心市街地から放射状にバス路線網が伸びている。
- 市街地の西側に八戸駅（新幹線駅）。
- 八戸駅から中心市街地まで、約 6 kmの距離がある。

1. 都市計画から見た八戸駅周辺

2. 八戸のスポーツの概況

3. 区画整理から見た八戸駅周辺

4. 八戸駅西まちづくり計画

スマート・スポーツシティ

5. まちづくりの状況

スポーツ（プロスポーツチームの活動状況）

八戸市では地域スポーツチーム応援事業で4チームを応援しています！



東北フリーブレイズ
(アジアリーグアイスホッケー)

■ チーム設立

2008年11月

■ 主な成績

【2010-11シーズン】

プレーオフ **優勝**

【2012-13シーズン】

プレーオフ **優勝**

【2014-15シーズン】

プレーオフ **優勝**

■ 近年の成績

【2021-22シーズン】

プレーオフ **準優勝**

【2022-23シーズン】 **6位**

【2022-23シーズン】 **3位**



ヴァンラーレ八戸FC
(J3リーグ)

■ チーム設立

2006年

※2006シーズンから
東北社会人リーグ2部参入

■ 近年のチームの成績

【2019シーズン】

J3 年間 10位

【2020】

J3 年間 15位

【2021】

J3 年間 13位

【2022】

J3 年間 10位

【2023】

J3 年間 7位



青森ワッツ
(バスケットボールB2リーグ)

■ チーム設立

2012年

※2013-2014シーズン
から参入

■ 近年のチーム成績

【2020-21シーズン】

東地区 8位

【2021-22シーズン】

東地区 7位

【2021-22シーズン】

東地区 7位

【2021-22シーズン】

東地区 5位

【2022-2023シーズン】

東地区 5位



八戸DIME
(3人制プロバスケットチーム)

■ チーム設立

2018年12月

※2019シーズンから参戦
「3×3.EXE REMIER」

■ 近年のチーム成績

【2019シーズン】

カンファレンス 2位

プレーオフ ベスト16

【2020シーズン】中止

【2021シーズン】

カンファレンス 3位

(プレーオフ進出ならず)

【2022シーズン】

カンファレンス 2位

プレーオフ ベスト16

【2023】

カンファレンス 4位

プレーオフ ベスト8

スポーツ（施設の整備）

多賀多目的運動場



平成28年10月1日供用開始

1. 管理棟の4階部分を津波避難施設として整備
避難収容者数 100人程度 ・避難階 4階(約12.45m程度)
2. Jリーグスタジアム基準を満たす照明設備を整備
令和3年4月1日供用開始

長根屋内スケート場



令和元年9月29日供用開始

1. 国際大会が開催可能な屋内スピードスケート場(国内3か所目)
2. スピードスケート競技・スケート文化の拠点的作用
令和6年2月3、4日に初となる国際大会を開催
3. 防災拠点・多目的な利用が可能
令和元年8月24日、竣工記念音楽フェスに約1万人が来場

FLAT HACHINOHE



令和2年4月1日供用開始

1. アイスホッケー利用時 : 約3,500人
バスケットボール利用時 : 約5,000人 収容可能
2. 映像・音響・照明設備も最新技術を活用したものを設置
3. 令和5年7月29日、東北最大級のゲームイベントを実施

〔基本方針〕

スポーツを「楽しみたいくなるまち」の実現と
「氷都八戸」の振興
～スポーツの力でさらなる元気な八戸に～

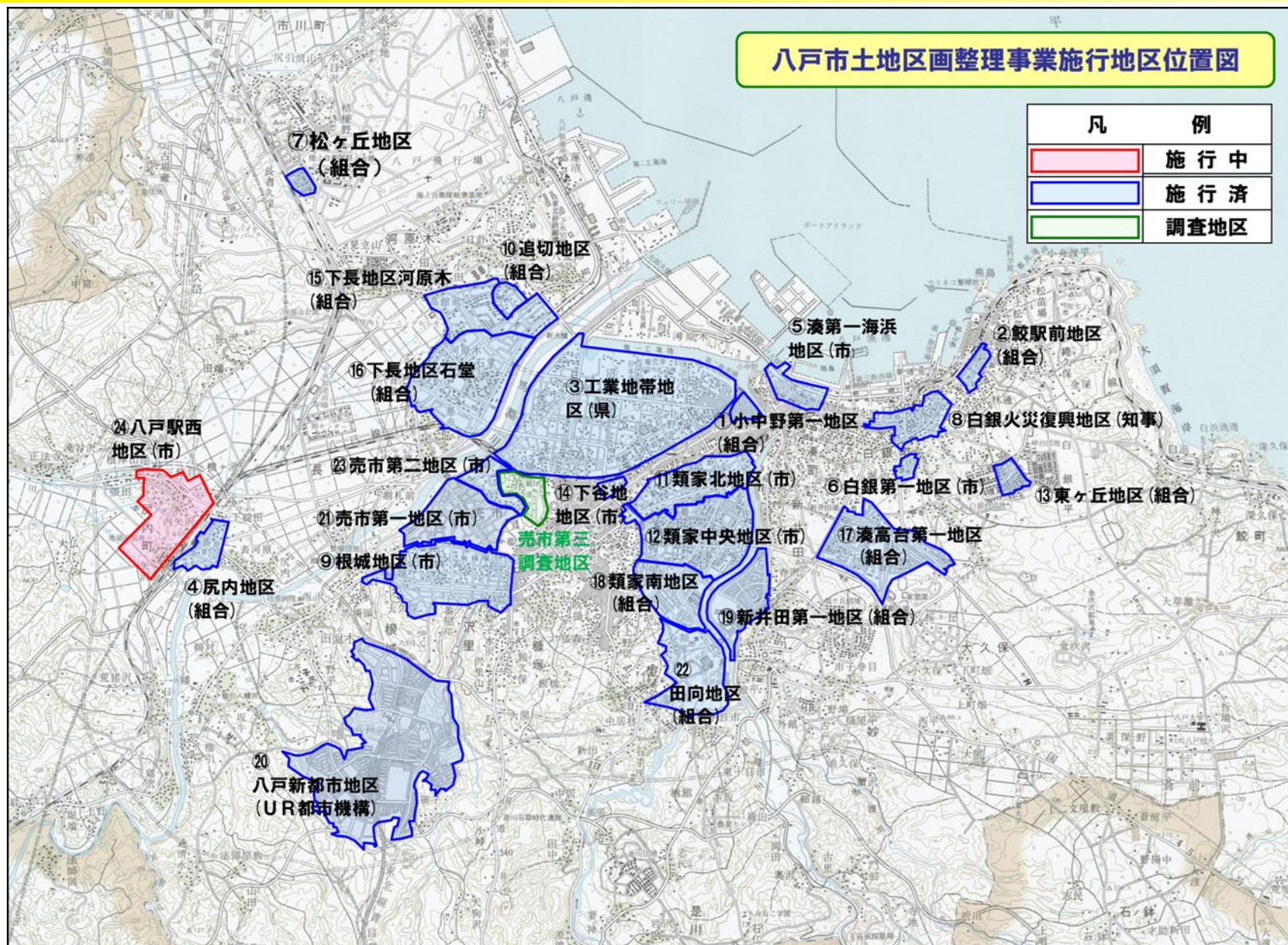
八戸の強み

本市は、日本の北部に位置しながら、日照時間が長く、雪が少ないことから、古くからスケートが盛んに行われており、市民の生活に密着したスポーツとして、親しまれています。

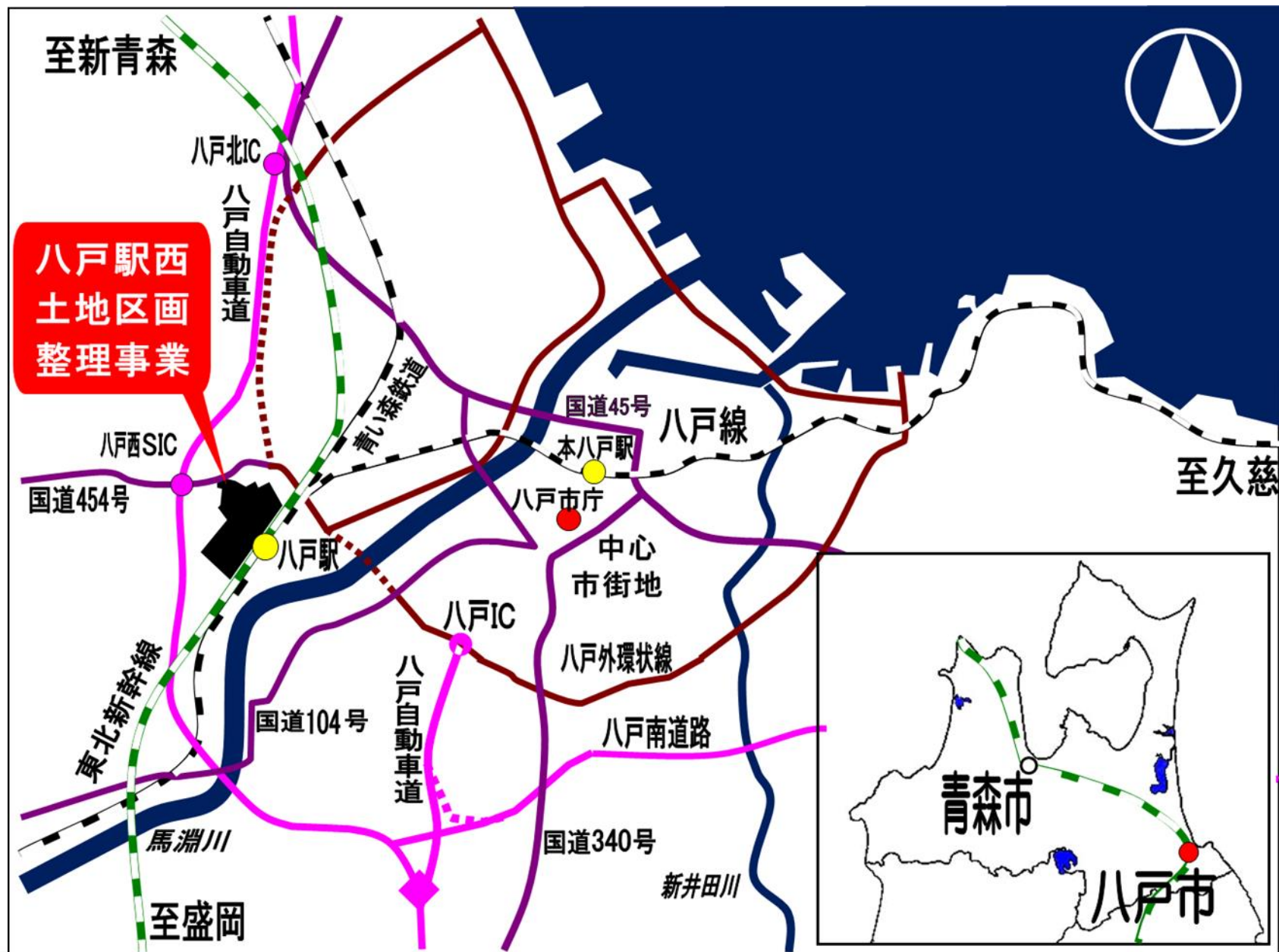
平成 27 年度からは、市の風土に根差したスポーツであるスケートに親しむ環境を醸成しながら、競技人口の増加と競技力の向上を図ることを目的に、氷都八戸パワーアッププロジェクトに取り組んでおり、また、令和元年 9 月には、400m ダブルトラック等を有する Y S アリーナ八戸、令和 2 年 4 月には、新たな形の官民連携により、アイスホッケー等用のアイスアリーナを有するフラット八戸が開場したこともあり、競技人口は増加傾向にあります。

1. 都市計画から見た八戸駅周辺
2. 八戸のスポーツの概況
- 3. 区画整理から見た八戸駅周辺**
4. 八戸駅西まちづくり計画
スマート・スポーツシティ
5. まちづくりの状況

八戸市の区画整理



八戸駅西地区の位置



区画整理事業着手前の八戸駅西地区（付近）の様子



八戸駅西地区（区画整理の設計との重ね図）



駅西地区内のゾーニング

学ゾーン

小学校、中学校（高等学校）

**“交流拠点を原風景にしながら
豊かな人間性を育む”**

- ・生涯誇れる故郷の学び舎
- ・スポーツと学力の出会いと融合
- ・多様性と共生の学校
- ・交流拠点の特性を活かした
特色ある課外活動と
まちづくりの連携

集ゾーン

多目的アリーナ

**“氷都の伝統と新たな魅力を創出
する駅西らしいアリーナ”**

- ・スポーツを通じた日常的な賑わいの場
- ・観光客を呼び込む非日常的なイベント空間
- ・スポーティでスマートなまちの風景

憩ゾーン

近隣公園（及び街区公園）

**“アリーナと一体となった、
健康的でスポーティな公園”**

- ・地域住民の憩いの場
- ・イベントを通じた交流の場
- ・自然を体感できる散策の道

活ゾーン

シンボルロード沿線等の商業エリア

**“来街者の多様なニーズに応え
新たな魅力を提供し続ける商業ゾーン”**

- ・八戸都市圏の顔となる
「変幻自在」な拠点
- ・幅広い世代の憧れとなる周辺住環境への貢献
- ・来訪者の滞在時間を拡大する演出
- ・ビジネス・観光等多様なニーズに対応
- ・新たな来訪者を増やす仕組みづくり

住ゾーン

周辺の住宅地

“幅広い世代の憧れとなる住環境”

- ・交流拠点としての誇りと憧れ
- ・どこに行くにも便利な住宅
- ・快適でうるおいのある住宅

駅前地区（点線部）

八戸駅西土地区画整理事業 計画概要

事業名	八戸都市計画事業八戸駅西土地区画整理事業
施行者	八戸市
施行面積	9 6 . 7 5 ha
施行期間	平成 9 年度～令和 1 5 年度（清算期間 5 年含む）
公共施設	幹線道路（W = 17.0m～40.0m） 5 路線 L = 約5,800m
	駅前広場 A = 約6,300m ²
	区画道路（W = 6.0m～12.0m） L = 約17,900m
	特殊道路（歩行者専用道路W = 4.0m～10.0m） L = 約2,700m
	公園 近隣公園（A = 約16,500m ² ） 1 ヶ所
	街区公園（A = 約 2,500m ² ） 6 ヶ所
	河川・水路 1 式
建物移転	6 4 6 戸
その他	宅地整地等 1 式
減歩率	平均減歩率 3 1 . 2 %（公共減歩 2 2 . 4 %、保留地減歩 8 . 8 %）
総事業費	2 8 0 億円

八戸駅西土地区画整理事業での公共施設の整備状況

駅前広場（平成31年3月しゅん工）



1. 都市計画から見た八戸駅周辺
2. 八戸のスポーツの概況
3. 区画整理から見た八戸駅周辺
- 4. 八戸駅西まちづくり計画**
スマート・スポーツシティ
5. まちづくりの状況

八戸駅西まちづくり計画（平成31年3月策定）

スマート・スポーツシティ
スポーツと連携し、コンパクト
なまちのなかで、多様なコンテ
ンツが集約し日々更新される、
スマートな“まち”



東北新幹線八戸駅西地区
スマート・スポーツシティ

まちづくりの核となる FLAT HACHINOHE

～スポーツ・エンターテインメントの新たな魅力を八戸から発信～

八戸駅西地区で新たに整備されるフラットアリーナは、氷都を象徴するアイスホッケーやフィギュアスケートに加え、バスケットボールなどの幅広いスポーツを「する」「観る」場として、また、八戸駅前立地を生かしこれまで誘致が困難であったコンサート、コンベンションなどの多様なイベントの開催の場として、さらには、地域行事、学校体育など、幅広い用途での活用を計画しています。最新のアリーナ設備や演出ノウハウを用いて、八戸から、スポーツ・エンターテインメントの新たな魅力を創造し、国内外に発信し、すべての人に開かれた、真の多目的空間を目指します。

フラットアリーナ外観イメージ図

収容人数：

アイスホッケー利用時・3500人程度収容

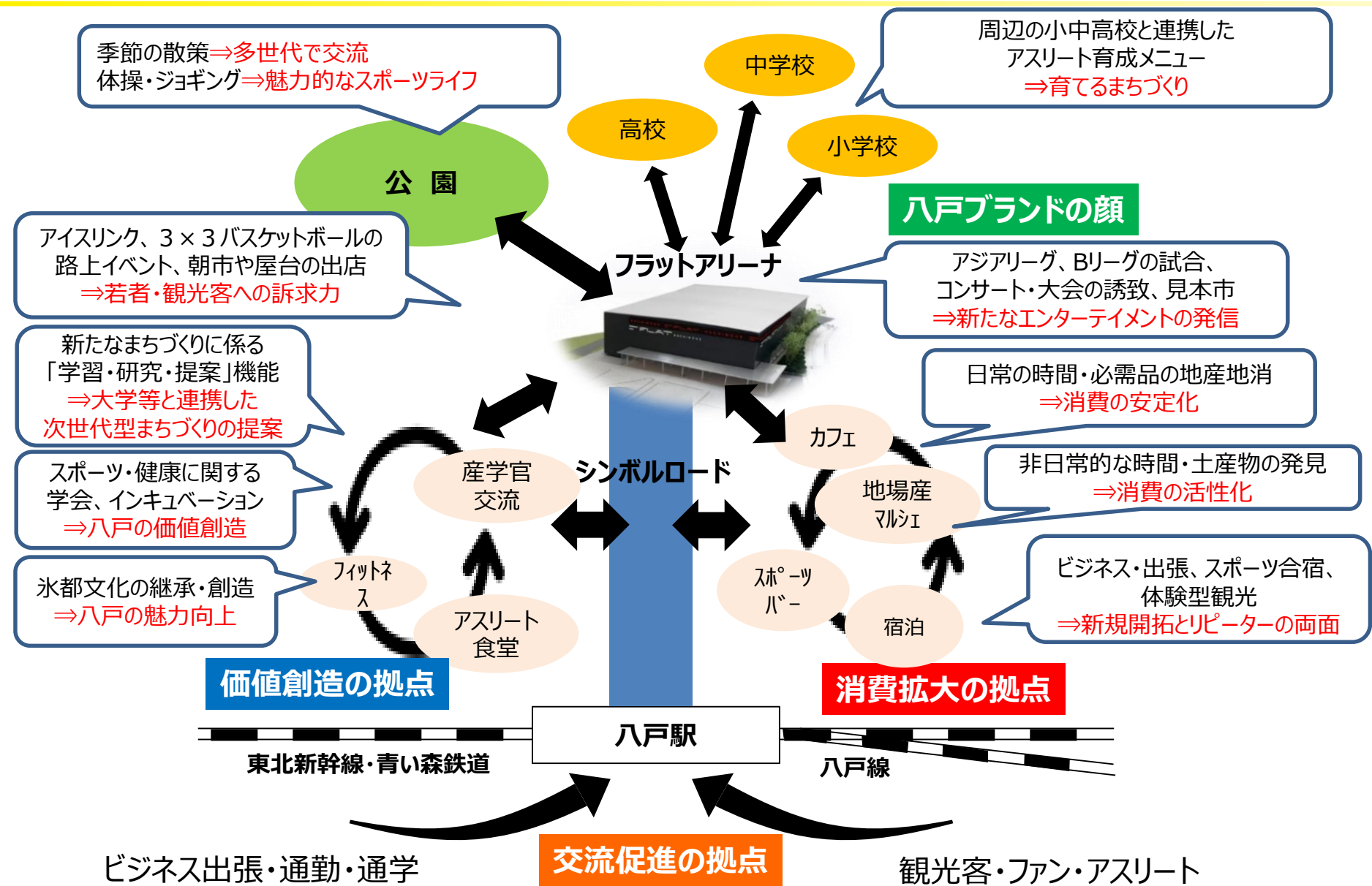
バスケットボール利用時・5000人程度収容



フラットアリーナ内観イメージ図



スマート・スポーツシティの提案



1. 都市計画から見た八戸駅周辺
2. 八戸のスポーツの概況
3. 区画整理から見た八戸駅周辺
4. 八戸駅西まちづくり計画
スマート・スポーツシティ

5. まちづくりの状況



クロススポーツマーケティング株式会社との出会い

平成20年代後半には、八戸駅西地区において駅前広場やシンボルロード周辺の整備の先行きが見えてきた中、15,000m²の大規模な保留地にどのように集客施設を誘致すべきか検討課題となっていた。

市は中心市街地等で施設整備を行っている一方で、商業地が未形成の駅西地区において民間事業者が先行投資することも難しい情勢にあった。

このような中、八戸市のスポーツ界の情勢と市街地整備の基本的な方針の中から、クロススポーツマーケティング株式会社における新たなアリーナ整備という話が持ち上がり交渉が行われ、平成29年度に整備が決まった。

平成30年度に前述の「まちづくり計画」を策定した。

3x3.EXE PREMIER2019 (令和元年8月17日)の様子

FLAT HACHINOHEが建設中であった令和元年8月に、八戸駅西口のバスプールやタクシープールの場所を活用して、3人制バスケットボールの試合を開催した。



3x3.EXE PREMIER2019 (令和元年8月17日)の様子



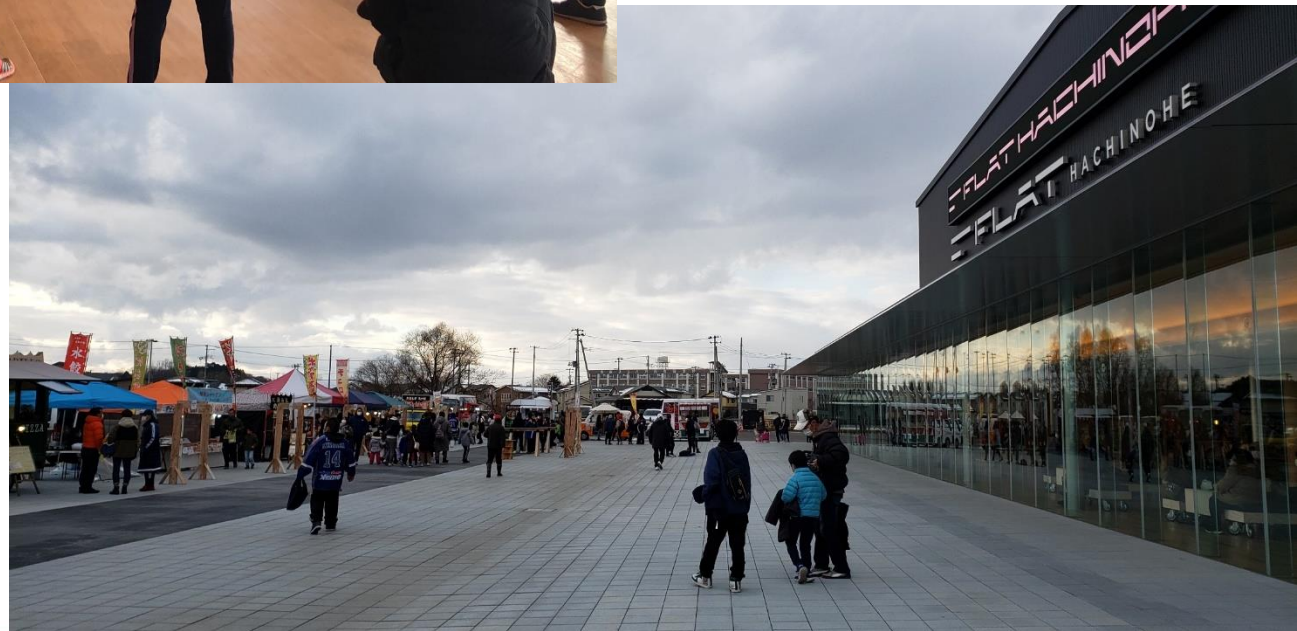
3x3.EXE
©2019 3x3.EXE

R2コロナ禍...ラジオ体操の始まり(R2.11.29)



“コロナ下でも出来ること”の考えのもと、盛り上がり隊によるラジオ体操が始まった。

キッチン広場in
FLAT SPACE



R3.4.28~30 STARS ON ICE TOUR 2021

混雑する歩道の様子



R3.6.26 3X3.EXE PREMIER JAPAN



出張！館鼻岸壁朝市＆
県内人気キッチンカー
フェスティバル

FLAT HACHINOHEで
3人制バスケットボールの
公式戦初開催

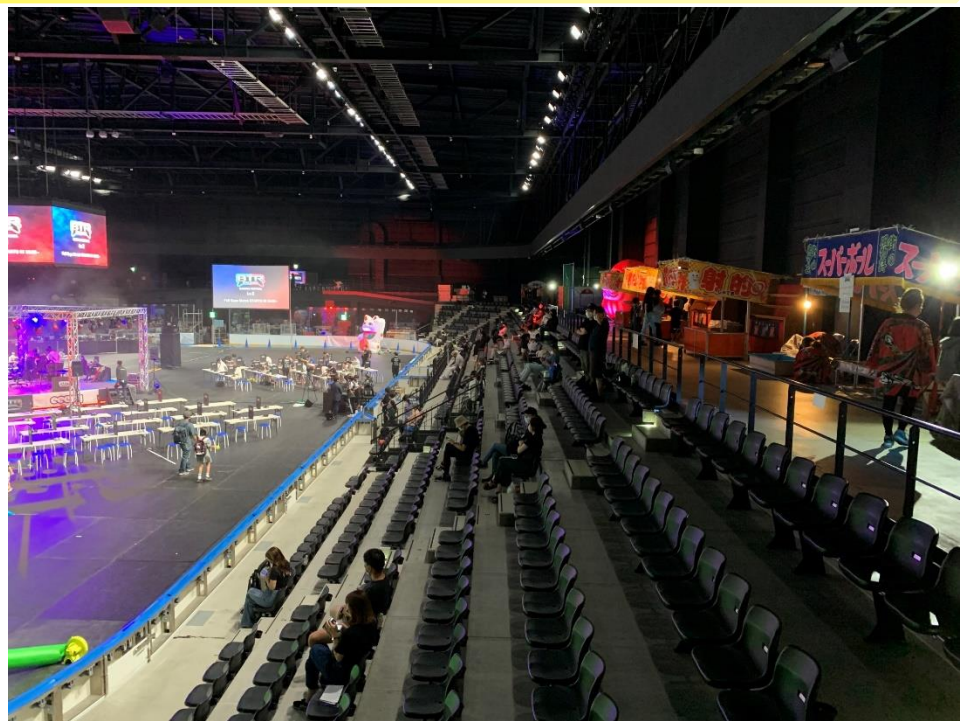
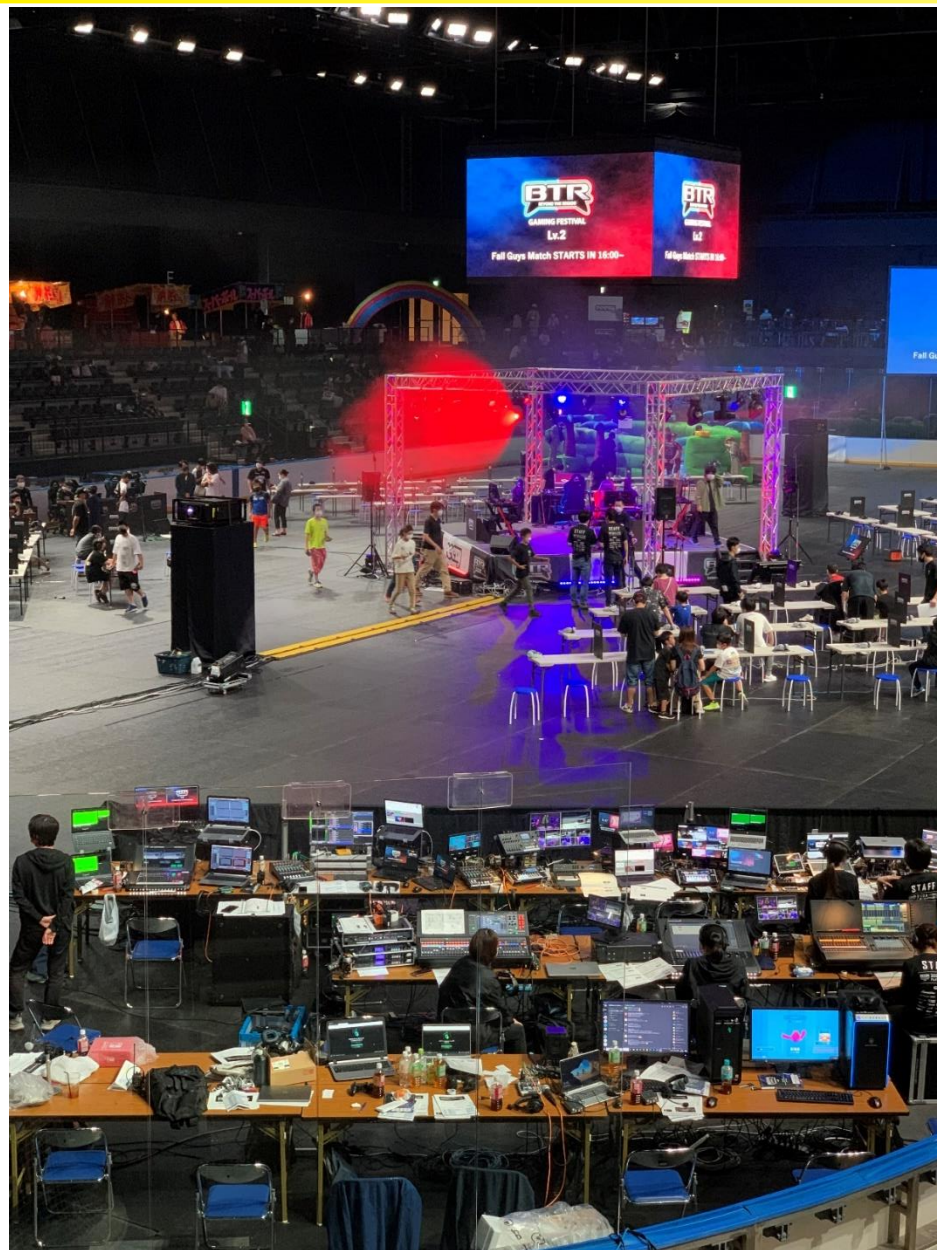
R3.7.11 くまのさわプレーパーク

遊Viva！熊ノ沢プレー
パーク推進委員会



盛り上がり隊による
ラジオ体操と同日開催

R4.8.11 e-sportsのイベント



BTR GAMING FESTIVAL Lv.2

公園を活用したイベントの様子 令和4年9月11日



「地域の底力」実践プロジェクト

結集会議 令和4年9月27日 @FLAT HACHINOHE

- ⇒市の市民連携推進課で実施している、「活動実践支援型」の事業
- ⇒上長地区連合町内会として採択。
- ⇒令和5年度プロジェクト実施



ラジオ体操×三条小学校



ラジオ体操 # 18 令和4年11月6日 @FLAT HACHINOHE

東北新幹線八戸開業20周年イベント

郷土芸能パレード 令和4年12月4日 @シンボルロード



FLAT HACHINOHEを活用したイベント

クリスマスマーケット 令和4年12月18日 @
FLAT HACHINOHE



第1回 HACHINOHE FESTIVAL (8フェス)

令和5年9月30日 @シンボルロード 主催：上長地区町内連合会



第1回 HACHINOHE FESTIVAL (8フェス)

令和5年9月30日 @シンボルロード 主催：上長地区町内連合会



R6.1.28地域リーダー応援講座

地域の底力プロジェクト 関連の講座



上長地区町内連合会や
盛り上がり隊の取り組み
状況を報告

R6.5.5 エルロン・ウエスト・ビレッジのオープン



内観

第2回 HACHINOHE FESTIVAL (8フェス)

令和6年5月5日 @シンボルロード 主催：八戸駅かいわいで盛り上がり隊



第2回 HACHINOHE FESTIVAL (8フェス)

令和6年5月5日 @シンボルロード 主催：八戸駅かいわいで盛り上がり隊



↑ 熊谷市長も参加

第3回 HACHINOHE FESTIVAL (8フェス)

R7. 2. 23

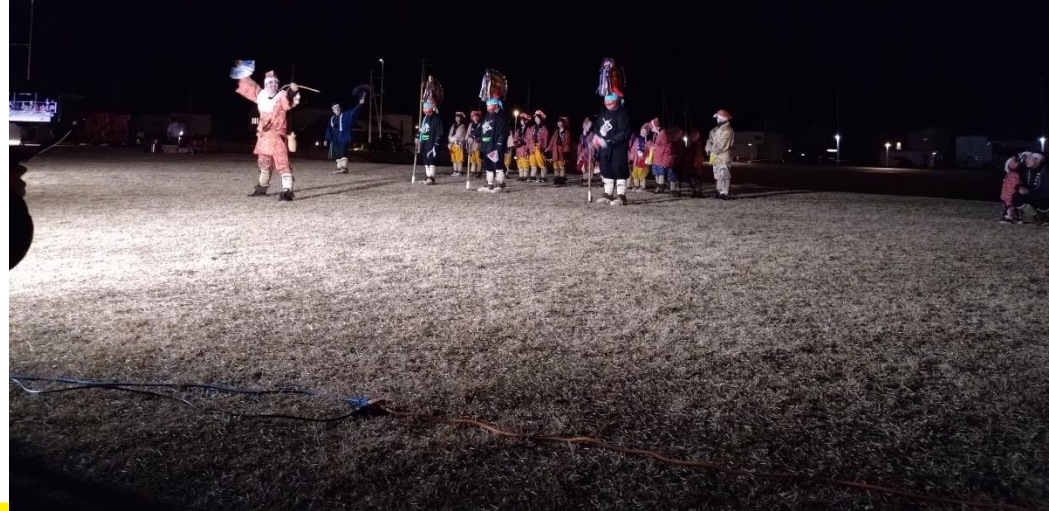


しばれ焼き

第3回 HACHINOHE FESTIVAL (8フェス)



花火とえんぶり



第4回 HACHINOHE FESTIVAL (8フェス)

R7. 5. 5



はたらく車

エルロン・ウエスト・ビレッジ
開業1周年

第4回 HACHINOHE FESTIVAL (8フェス)



フィットネスクラブのイメージ（シンボルロード沿線）



内容は変更になる場合があります。

R7 周辺の様子

浅水川と
フラットパーク

シンボルロード



(資料おわり)